

令和3年度研究開発学校の研究開発課題の設定について

研究開発学校の指定を受けようとする学校においては、先行研究も踏まえながら、以下に「研究開発の募集課題」として示した4つの課題のいずれかに即して、先進的な研究開発課題を具体的に設定すること。

各課題については、「研究開発の視点の例」を示している。各学校における課題の設定に当たっては、必ずしもここで示している視点に限る必要はないが、これらも参照しつつ、教育課程の在り方について長期的な視野を持ちながら、各学校の創意工夫を生かして研究開発課題を設定すること。

その際、以下の点に留意すること。

- (1) 研究開発学校制度は全ての国公私立学校に適用される教育課程の基準である、学習指導要領の改訂に資する実証的な資料を得ることを目的とするものであることから、その趣旨を十分に踏まえること
- (2) 他の学校においても実施できる汎用性の確保に特に留意し、個々の環境条件の下で得られた結論について、一般化がどの程度までできるかを明確にするとともに、他校への普及や展開が期待できる内容にすること

なお、研究開発課題は教育課程全体を見通したものであることが望ましいが、研究開発の対象は必ずしも複数の教科等にまたがるものである必要はなく、1つの教科等に限られるものであってもかまわない。

【研究開発の募集課題】

1. 主として特定分野に特異な才能を持つ児童生徒に対する指導に関する研究開発

(研究開発の視点の例)

<知的な好奇心を高める発展的な学習の充実>

例えば特異な才能と学習困難とを併せ持つ2E(Twice-Exceptional)の児童生徒などを含め、特定分野に特異な才能を持つ児童生徒に対し、遠隔・オンライン教育も活用し、学習意欲の喚起や知的な好奇心を更に高める発展的な学習の指導や支援のための教育課程の在り方について研究する。

<個別最適な学びと協働的な学びの往還に関わる研究>

STEAM教育など教科等横断的で実社会と関わるプロジェクト型の学びなどにより、個別最適な学びと、児童生徒同士がお互いの違いを認め合い、学び合いながら相乗効果を生み出す協働的な学びの往還の在り方について研究する。

<学校外での学びの実践>

大学や民間団体等が提供する学校外での学びへ児童生徒をつないでいき、学校においてその学習を生かし自他ともに学び合い成長する機会を設けるとともに、学校外での学びの成果を含めた学習評価の在り方について研究する。

2. 主として学校段階間の連携による一体的な教育課程に関する研究開発

(研究開発の視点の例)

<幼小接続>

幼稚園と小学校の連携を推進し、円滑な接続を図るための一体的な教育課程について研究する。

<小中高を見通した教育課程>

初等中等教育全体を見通した資質・能力の確実な育成に向け、例えば、教科等横断的な視点で学習の基盤となる資質・能力を育成する教育課程の編成・実施や、児童生徒の発達の段階を踏まえ、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりする自己評価などの学習活動の充実による学びに向かう力の育成などについて、小・中・高等学校 12 年間を見通した一体的な教育課程の中で研究する。

3. 主として不登校児童生徒の特性に応じた教育課程の在り方に関する研究開発

(研究開発の視点の例)

<個々の不登校児童生徒の特性等に応じた教育課程等の研究>

個々の不登校児童生徒の特性や小・中・高等学校の段階に応じた、新たな教科及び学習の時間の創設、各教科等の内容の構成を含む教育課程の在り方や個々の学習状況に応じた個別の指導計画の作成について研究する。

<不登校児童生徒への同時双方向型授業配信を活用した指導方法等>

自宅や校内の別室から参加する同時双方向型授業配信における指導方法及び学習評価の在り方について研究する。

<不登校児童生徒の段階的な学校生活への適応の支援方法の研究>

対面指導と同時双方向型授業配信等を適切に組み合わせた不登校児童生徒の段階的な学校生活への適応の支援方法について研究する。

4. 主として特別支援教育の教育課程に関する研究開発

(研究開発の視点の例)

<小・中・高等学校と特別支援学校との間の学びの連続性の確保>

知的障害者である児童生徒に対する小学校等における各教科等を基にした教育課程の編成、指導方法及び学習評価の在り方について研究する。

【参考】

1. について「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（中間まとめ）（令和2年10月7日中央教育審議会初等中等教育分科会）P.14～15、P.33～34、2. について同P.31～32、3. について同P.63参照のこと。

https://www.mext.go.jp/content/20201007-mxt_syoto02-000010320_2.pdf